

Society5.0に向けて

新学習指導要領
「社会に開かれた教育課程」

国・県・教育事務所の施策

令和5年度 棚倉町立高野小学校学校経営・運営ビジョン ～創立150周年 地域の記憶に残る学び舎を目指して～

棚倉幼稚園・町内各小学校・棚倉中学校・修明高校との連携

棚倉町教育ビジョン
夢をつなぎ志を育み、
よりよく生きようとする
子どもの育成

教育目標
自ら切り拓く 未来の創造
～学びを創る・仲間を創る・地域を創る～

高野小で培いたいキャリアの力
○ 発信力（伝える力）聞く力
○ 自分で計画し実行する力
★ 自分からアプローチし挑戦する力
★ 失敗しても立ち直る力

高野子どもルール5
1 あいさつをしよう
2 はっきりと返事をしよう
3 ありがとうを言おう
4 時間を守ろう
5 はきものをそろえよう



**重点目標：「自分で決めて」自分から一步を踏み出す力をもった児童の育成
～しなやかなレジリエンスの獲得～**



高野小学校
150年の歴史を記憶に刻む
💡 探究的な「ふるさと学習」
💡 対話のある協働的な学び
💡 「こども祭り」と150周年記念式典のコラボ
・高野地区に誇りをもち、地域の方々と学校を創り上げ、地域を創る

少人数教育のよさを生かした個々が真の成長を遂げる学び
💡 自分で決める学習
💡 個別最適な学び
💡 自己マネシートと自己マネタイムの活用
・ファシリテーター・コーディネーターとしての教師の役割

何があっても乗り切れるしなやかさ
💡 道徳・学級活動・総合的な学習の時間を貫くキャリア教育
💡 児童が挑戦できる学校行事
💡 一人一人の成長に寄り添うキャリア教育の展開
・レジリエンスを育てる学級経営
・「挑戦し、失敗できる」親和性のある土壌づくり

次年度を見据えた教育活動
💡 「場所・人・やり方に慣れる」棚倉小との協同学習
💡 次年度を見据えて児童・教職員・保護者・地域の方々全てが希望をもつ対話ある課題解決
・「どの子も棚倉の子」という広い視野にたった支援
・ICTを駆使し、いつでも、どこでも繋がれる環境づくり

高野の子どもたちの姿

○ 相手の話しっかり話を聞いて、受け止め、臆せず自分の考えも伝えられる姿。
○ 自分の学びを自分で決めて、実行する姿。
○ 新たな場所で自分からアプローチし、仲間を創り、やりたいことに挑戦する姿。
○ 失敗をしても立ち直り、恐れずに再び挑戦するしなやかな姿。
高野大好き！ずっと大好き！どこへ行っても仲間！前を向いて令和6年度をスタートさせよう！



持続可能な高野地区の未来へ向けて

地域とともにある学校

CS・学校運営協議会のよさを生かし、地域ぐるみで児童を育てる
💡 児童が地域で学べる機会の保障
💡 学校支援・授業支援



学校を核とした地域づくり

学校を中心として、地域がつながる
💡 150周年式典・分散式を地域と一つになって作り上げる

学校運営協議会：年3回の定例会、学校行事への参加、
💡 「学区改編と地域のあり方」の検討、評価を学校運営に生かす

高野フューチャーラボ

💡 地域交流の実践の場・リカレント教育・学びをサポート

**学力向上
グランド
デザイン
キャリア教育
でつくる
学力**

R高野小の課題

- 1 少人数のため個人差が自立しやすい。
- 2 基礎学力が不十分（特に読解力）
- 3 家庭学習時間の不足とメディア接触時間の増加

V学力向上の基礎力

- 1 学びを自らマネジメントできる児童
- 2 主体的に学ぶ児童
- 3 分からないことも自ら挑戦する児童

P未来を作る手立て

- 1 確実な個別最適な学習の成立
- 2 協働的な学びの場の設定
- 3 ICT活用における自己調整力の育成

D具体的な方策

- 1 自己マネシートを活用した家庭学習の積極的な指導
- 2 AIドリル、各種アプリを活用した基礎学力の育成
- 3 対話を生かした指導

C評価を生かす

- 1 標準学力調査 全教科目標値+1
- 2 学力調査結果分析と補充学習
- 3 Q-Uなど諸調査の活用

A自己マネシートを用いた評価と励まし

- 1 一人一人を大切にされた個人評価の分析とフィードバック
- 2 基礎的・汎用的能力を向上させるための授業改善